

公立大学法人京都市立芸術大学では、創立記念日にあたる7月1日に、今年度発足した芸術資源研究センターの開設記念事業を次のとおり開催します。京舞井上流の井上安寿子氏による祝幕で幕開けし、本学で能楽部員をご指導いただく金剛流の金剛龍謹氏によるワークショップ、哲学者の鷲田清一氏による講演など、多彩な内容でお送りします。皆様のご来場をお待ちしております。

日時：平成26年7月1日（火） 13時30分～16時30分（13時より受付開始）

場所：京都市立芸術大学講堂

定員：400名（当日先着順・無料）

プログラム

第1部 京都市立芸術大学創立記念式典

■上方唄「柱立（はしらだて）」

出演：井上 安寿子 氏（京舞井上流）

■学長挨拶 建畠 哲

■祝辞 門川 大作 京都市長

中村 三之助 京都市会議長

第2部 芸術資源研究センター開設記念シンポジウム

■ワークショップ

「舞と謡の過去・現在・未来 ―記譜法と身体伝承―」

出演：金剛 龍謹 氏（能楽金剛流シテ方）

京都市立芸術大学能楽部（学内サークル）

解説：藤田 隆則（日本伝統音楽研究センター教授）

■パネルディスカッション

パネリスト：金剛 龍謹 氏

石原 友明（美術学部教授）

柿沼 敏江（音楽学部教授）

藤田 隆則

コーディネーター：加治屋 健司

（芸術資源研究センター准教授・専任研究員）

第3部 芸術資源研究センター開設記念講演

「アートと社会」という、大事だけれどもヘンな問題

講師：鷲田 清一 氏（哲学者・大谷大学教授）

■芸術資源研究センター所長挨拶 定金 計次（美術学部教授）

式典

井上 安寿子（いのうえ やすこ）

昭和63年能楽観世流シテ方九世 観世鍬之丞と京舞井上流五世家元井上八千代の長女として京都に生まれる。

2歳より稽古を始め、四世及び五世井上八千代に師事。

3歳の時「四世井上八千代米寿の会」上方唄「七福神」初舞台。

平成18年井上流名取となる。平成23年京都造形芸術大学舞台芸術学科卒業。平成25年自身主宰の舞踊公演「葉々（ようよう）の会」を発足。同年第50回なにわ芸術祭 新進舞踊家競演会新人賞。



ワークショップ・講演

金剛 龍謹（こんごう たつのり）

昭和63年能楽金剛流シテ方二十六世宗家金剛永謹の長男として京都に生まれる。父・金剛永謹、祖父・二世金剛巖に師事。5歳で仕舞「狸々」で初舞台、10歳で能「岩船」初シテを務める。同志社大学文学部卒業。平成22年、スペイン・ポルトガル公演に参加。平成24年より、自身主宰の演能会「龍門之会」を開催するほか、本学の能楽部での指導にあたり、能楽の普及に努めている。

公益財団法人金剛能楽堂財団評議員。



鷲田 清一（わしだ きよかず）

哲学者。大谷大学教授、せんだいメディアテーク館長、前大阪大学総長。昭和24年生まれ。京都大学文学部卒業、同大学院修了。関西大学教授、大阪大学教授、理事・副学長、大阪大学総長を経て現職。日本倫理学会前会長、アートミーツケア学会会長。平成16年紫綬褒章。

著書に『「聴く」ことの力』（阪急コミュニケーションズ、平成11年桑原武夫学芸賞）、『「ぐずぐず」の理由』（角川選書、平成23年、読売文学賞）ほか多数。

